

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	支出額	支出未済額	摘	要
第一款 實	第一項 實	二四、〇〇〇	六三、三五三	一七七、六三三	一三六、四六六	五九、一六六		
	第一項 雜	四、〇六六	五四、〇〇八	五八、〇七四	五八、〇四三	△		
第二款 雜	第一項 雜	四、〇六六	五八、〇〇八	五八、〇〇四	五八、〇〇四	△		
	第一項 前年度繰越金	二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		
合 計		二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		
第一項 實	第一項 實	二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		
	第一項 雜	二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		
第二項 研	第一項 研	二、〇〇〇	〇	二、〇〇〇	一九九、二〇〇	一五、一〇〇		
	第二項 研	二、〇〇〇	〇	二、〇〇〇	一九九、二〇〇	一五、一〇〇		
第三款 豫	第一項 豫	一	〇	一	一	一		
	第一項 豫	一	〇	一	一	一		
合 計		二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		

使用の状況

印刷事業費

収入の状況

附記

収入の生産物賣拂代は出納閉鎖期迄には算額通り収入の見込である
 支出に於て雑給八万六千餘圓實習費一萬一千餘圓研究費一千二百餘圓は収入の關係上未拂となつてゐるが既に支拂義務を生じてゐるものであり殘餘は不要額として翌年度へ繰越す見込である

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	収入済額	収入未済額	摘	要
第一款 專 業	第一項 專 業 收 入	二八、四〇〇	五八、〇〇八	八三、九〇八	八四、一七六	△二六、七六八		
	第一項 專 業 收 入	二八、四〇〇	五八、〇〇八	八三、九〇八	八四、一七六	△二六、七六八		
第二款 雜	第一項 雜 收 入	二八、四〇〇	五八、〇〇八	八三、九〇八	八四、一七六	△二六、七六八		
	第一項 雜 收 入	二八、四〇〇	五八、〇〇八	八三、九〇八	八四、一七六	△二六、七六八		
第三款 繰	第一項 繰 越 金	二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	三三、六四〇	△		
	第一項 繰 越 金	二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	三三、六四〇	△		
合 計		二八、四〇〇	二七、七四〇	三三、六四〇	一九六、九五〇	三六、八九〇		

使用の状況

科目	当初豫算額	追加更正額	計	支出額	支出未済額	摘要
第一款 事業費	二七、四四四	五、〇三三	八〇、九九七	六八、〇五八	一三、四四八	
第一項 事業費	二七、四四四	五、〇三三	八〇、九九七	六八、〇五八	一三、四四八	
第一目 俸給及諸給	一一、一四〇	三、一〇七	二四、六四七	二五、七五八	一〇、五八二	
第二目 作業費	四九、三四〇	三、七五四	五三、〇八四	四四、〇八七	八、九九六	
第三目 修繕費	二、〇〇〇	二、九八一	三、八八一	一四、六一〇	一〇、七四二	
第二款 一般會計繰入金	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
第一項 一般會計繰入金	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
第一目 一般會計繰入金	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
第三款 備費	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
第一項 備費	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
第一目 備費	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	—	一〇、〇〇〇	
計	三三、四四四	五、〇三三	八三、九九七	六八、〇五八	一五、四三九	

附記

収入は事業収入に於て現在二萬八千餘圓の収入増となつてゐるが今後猶二十四萬餘圓収入の見込である
 支出は二萬二千餘圓の未支出となつてゐるが職員の待遇改善に伴ふ給與の支給方法が未決定であり又資材購入費、修繕費等何れも
 歳計現金の都合上支拂、遅延してゐるもので今後に於て支出を必要とするものである、一般會計繰入金も近く繰入の見込である、

作農創設維持獎勵資金

収入の状況

科目	日	当初豫算額	追加更正額	計	収入額	収入未済額	摘要
第一款 國庫支出金		四、九四四	四、〇二二	四、九七七	四、〇七三	〇、九〇三	
第一項 國庫支出金		四、九四四	四、〇二二	四、九七七	四、〇七三	〇、九〇三	
第二目 國庫支出金		四、九四四	四、〇二二	四、九七七	四、〇七三	〇、九〇三	
第二款 諸收入		三、八、四〇〇	△ 二、五三、〇八一	五、三、三九	一、八六六、五元	三、四六三、五元	
第一項 債還		三、八、四〇〇	△ 二、三三、〇八一	五、三、三九	一、八六六、五元	三、四六三、五元	
第一日 債還		三、八、四〇〇	△ 二、三三、〇八一	五、三、三九	一、八六六、五元	三、四六三、五元	
第三款 繰越		—	—	—	—	—	
第一項 繰越		—	—	—	—	—	
第一日 繰越		—	—	—	—	—	
計		三、〇〇、四四四	二、七四、五三三	三、〇四、〇七七	三、〇四、〇七七	—	

使用の状況

科目	日	當初豫算額	追加更正額	計	支出額	支出未済額	摘要
第一款 縣債費		二、九六、九六四	二、七四、五三三	三、〇四、〇七七	三、〇四、〇七七	—	

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	支出額	支出未済額	摘	要
第一項 懸	第一目 懸	三、九六、六四〇	二、七四、六五五	三、〇四三、五九三	三、〇四三、五九三	—		
	第二目 懸	三、五八、六四〇	三、七四、六五五	三、〇四三、五九三	三、〇四三、五九三	—		
第二項 豫	第一目 豫	三、四七〇	—	三、四七〇	二、二八九	三、四七八、二		
	第二目 豫	三、四七〇	—	三、四七〇	二、二八九	三、四七八、二		
合	計	三、〇、四三三	三、七四、六五五	三、〇四三、五九三	三、〇四三、五九三	三、四七八、二		

附記

償還金の未収入三千四百餘圓は近く収入の見込であり
支出における豫備費の内三千四百餘圓は不要額となるものである。

畜牛増殖奨励事業費

収入の状況

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	収入額	収入未済額	摘	要
第一項 使	第一目 使	三、四九、七〇〇	四、三三、四四〇	七、八三、一四〇	七、八七、〇七五	△七、〇七五		
	第二目 使	三、三三、七〇〇	四、三三、四四〇	七、六七、一四〇	七、七三、〇七五	△七、〇七五		
第二項 使	第一目 使	三、三三、七〇〇	—	三、三三、七〇〇	三、三三、七〇〇	—		
	第二目 使	三、三三、七〇〇	—	三、三三、七〇〇	三、三三、七〇〇	—		
合	計	三、〇、四〇一	四、〇〇、〇〇〇	七、〇四、四〇一	七、〇四、四〇一	—		

使用の状況

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	支出額	支出未済額	摘	要
第一項 物品	第一目 物品	三、〇、〇〇〇	四、〇〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
	第二目 物品	三、〇、〇〇〇	—	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
第二項 益	第一目 益	—	—	—	—	—		
	第二目 益	—	—	—	—	—		
第三項 債	第一目 債	三、〇、〇〇〇	—	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
	第二目 債	三、〇、〇〇〇	—	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
第四項 繰	第一目 繰	三、〇、〇〇〇	—	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
	第二目 繰	三、〇、〇〇〇	—	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	—		
合	計	三、〇、〇〇〇	四、〇〇、〇〇〇	七、〇〇、〇〇〇	七、〇〇、〇〇〇	—		

科	目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	支出額	支出未済額	摘	要
第一款 増	第一項 種 牝 牛 増 殖 費	三、七六、〇〇一	五、三〇、三三〇	九、〇六、三三一	七、七四、六四一	一、三一六、六七〇		
	第二項 種 牝 牛 購 入 費	三、七五、〇〇〇	二、八八、〇〇〇	六、六三、〇〇〇	五、八八、九七一	七、〇〇六、七三		
第二款 増	第一目 種 牝 牛 育 成 費	三、〇〇、〇〇〇	一、六〇、〇〇〇	四、六〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇		
	第二目 種 牝 牛 育 成 費	三、〇〇、〇〇〇	一、六〇、〇〇〇	四、六〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇		
第三款 増	第一項 種 牝 牛 購 入 費	三、〇〇、〇〇〇	—	三、〇〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	—		
第四款 増	第一目 種 牝 牛 育 成 費	三、〇〇、〇〇〇	—	三、〇〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	—		
合	計	三、〇、〇〇一	一〇、〇〇〇	一三、〇〇一	一三、〇七、六六	四、〇〇一		

科 目	當初豫算額	追加更正額	計	支出額	支出未済額	摘 要
第一目 交付金	—	—	—	—	1,000	
第二目 指導監督費	11,000	10,000	21,000	11,976	9,024	
第三目 雜費	1,000	—	1,000	600	500	
第三項 牛舎改造費	—	10,000	10,000	10,000	—	
第一目 牛舎改造費	—	10,000	10,000	10,000	—	
第二項 縣債	35,710	—	35,710	35,710	—	
第一項 縣債	35,710	—	35,710	35,710	—	
第一目 縣債	35,710	—	35,710	35,710	—	
第三項 豫備費	9,000	—	9,000	—	9,000	
第一項 豫備費	9,000	—	9,000	—	9,000	
第一目 豫備費	9,000	—	9,000	—	9,000	
合 計	33,710	50,000	83,710	80,000	3,710	

附 記

収入の廢用牛賣拂代及償還金の収入未済額は何れも出納閉鎖期迄に全額収入の見込である、支出において未支出額の内種牡牛育成費、雜費、牛舎改造費及縣債費は今後支出を要するものであるが種牡牛購入費、交付金、指導督勵費の未支出額は不要額となる見込である、

畜農家解消事業費

収入の状況

科 目	當初豫算額	追加更正額	計	収入額	収入未済額	摘 要
第一款 畜 收 入	2,210	2,210	4,420	4,420	—	
第一項 畜 牛 拂 下 代	2,210	2,210	4,420	4,420	—	
第一目 畜 牛 拂 下 代	2,210	2,210	4,420	4,420	—	
第二項 廢 用 牛 拂 下 代	—	—	—	—	—	
第一目 廢 用 牛 拂 下 代	—	—	—	—	—	
第三項 家 畜 保 險 料	10,000	—	10,000	—	10,000	
第一目 家 畜 保 險 料	10,000	—	10,000	—	10,000	
第四項 益 金	100	—	100	—	100	
第一目 利 子	100	—	100	—	100	
第五項 一 般 會 計 補 充 金	3,000	—	3,000	—	3,000	
第一目 一 般 會 計 補 充 金	3,000	—	3,000	—	3,000	
合 計	25,420	2,210	27,630	4,420	23,210	

使用の状況

科目	當初豫算額	追加更正額	計	支出額	支出未済額	摘要
第一項 無畜農家解消事業費	33,000	2,270,000	2,303,000	2,303,000	0	
第一目 役牛購入費	120,000	2,270,000	2,390,000	2,390,000	0	
第二目 雜費	10,000	9,370	19,370	19,370	0	
第三項 獎助金	110,000	1,750,000	1,860,000	1,860,000	0	
第一目 牛馬購入施設費	80,000	0	80,000	80,000	0	
第二目 厩舎改造施設費	80,000	0	80,000	80,000	0	
第三目 飼料對策費	80,000	50,000	130,000	130,000	0	
第四目 生産奨励費	0	1,700,000	1,700,000	1,700,000	0	
第三項 指導費	10,000	10,000	20,000	20,000	0	
第一目 專任職員費	10,000	0	10,000	10,000	0	
第二目 備用品費	1,000	9,000	10,000	10,000	0	
第三目 消耗品費	5,000	10,000	15,000	15,000	0	
第四目 旅費	5,000	0	5,000	5,000	0	
第五目 通信運搬費	5,000	0	5,000	5,000	0	
第六目 雜費	5,000	0	5,000	5,000	0	
第七目 調査研究費	0	0	0	0	0	
第二項 故對策費	33,000	0	33,000	33,000	0	

科目	當初豫算額	追加更正額	計	支出額	支出未済額	摘要
第二項 事故對策費	33,000	0	33,000	33,000	0	
第一目 家畜保險加入費	8,750	0	8,750	8,750	0	
第二項 事故補償費	15,000	0	15,000	15,000	0	
第一目 種付料費	15,000	0	15,000	15,000	0	
第一目 種付料費	15,000	0	15,000	15,000	0	
第四項 政府返還積立金	91,000	0	91,000	91,000	0	
第一項 政府返還積立金	91,000	0	91,000	91,000	0	
第一項 政府返還積立金	91,000	0	91,000	91,000	0	
第五項 豫備費	10,000	0	10,000	10,000	0	
第一項 豫備費	10,000	0	10,000	10,000	0	
第一項 豫備費	10,000	0	10,000	10,000	0	
合計	233,000	2,270,000	2,503,000	2,503,000	0	

附記

収入の内畜牛拂下代未収入百五十二萬一千百餘圓中八十五萬三千餘圓は出納閉鎖期迄に収入するものであるが六十六萬八千餘圓は生産物の賣却が豫定より少かつた爲収入減となる見込である、又廢用牛拂下代の未収入二萬九千二百餘圓は廢用牛が少かつた爲、家畜保險料の一萬圓は保險加入牛に事故がなかつた爲収入減となり、一般會計補充金二萬五千圓は支出において諸経費が豫算額に比し減少の爲、其の必要がなかつたものである、

支出の役牛購入費百二萬三千餘圓は國有役牛購入費の納入告知書が未着の爲未拂であり其の他飼料對策費二千三百餘圓、生産奨励費七十五萬八千八百餘圓、備品費一萬四千八百餘圓、通信運搬費約七百圓、調査研究費一萬三千八百餘圓の未拂あるも其の他は種々の事情に依り事業の實施困難となり、或は経費の節減等の理由により不要額となる見込である、

物産幹旋事業費

00326

収入の状況

科 目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	収入額	収入未済額	摘 要
第一款 寄附金						
第一項 寄附金		八九六,000	八九六,000		八九六,000	
第二項 寄附金		八九六,000	八九六,000		八九六,000	
第二款 手数料						
第一項 手数料		一六〇,000	一六〇,000		一六〇,000	
第二項 手数料		一六〇,000	一六〇,000		一六〇,000	
合 計		一,092,000	一,092,000		一,092,000	

使用の状況

科 目	當初豫算額	追加更正 豫算額	計	支出額	支出未済額	摘 要
第一款 物産幹旋事業費						
第一項 物産幹旋事業費		一,092,120	一,092,120		一,092,120	
第二項 俸給及諸給費		七三,050	七三,050		七三,050	
第三項 備要費		八三,830	八三,830		八三,830	

00327

科 目	備 費	結 費	計
第一款 設備費			七六九,000
第一項 設備費		一四〇,000	一四〇,000
第二項 設備費		二五八,800	二五八,800
第三項 設備費		二五八,800	二五八,800
第四項 設備費		二五八,800	二五八,800
第五項 設備費		二五八,800	二五八,800
合 計		一,092,000	一,092,000

附 記

収入支出共未執行の状態であるが寄附金については出納閉鎖期迄に六十五萬圓は収入する見込であり残り二十四萬九千については經濟的、時期的事情により遺憾ながら年度内収入は困難の状況である、
 幹旋手数料については何分事業開始後日浅き爲計畫通りの実績を上ることが出来ず年度内収入は四萬圓程度に止まるが見込である
 支出においては俸給及諸給約八千圓、需用費約二千圓、設備費、六十八萬餘圓の未拂があるが之は収入の關係上支拂が遅延したもので残餘は同一理由により執行減の已むなき事情である。

00327-1

三、昭和二十三年年度豫算について

本年三月三十日一部の修正を経て可決成立を見た昭和二十三年度一般會計豫算の總額は七億六百九万六千六百二十八圓であるがこの財政事情は三月三十一日現在で調整したので未だ執行する時期に到つて居ないけれどもこの際豫算の概貌を公表することにす

1、當初豫算の概貌

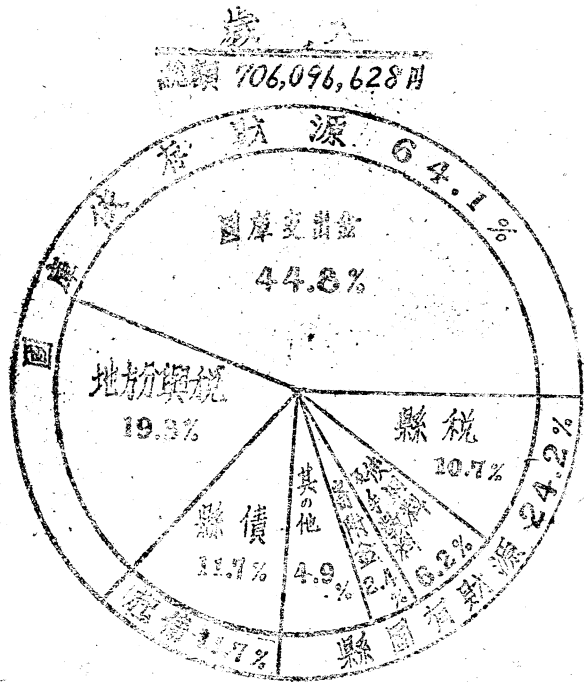
現下の社會經濟狀況と國家の方針未だ定まらざる下において特に本縣の如き貧弱財政で昭和二十三年度一ケ年間の總豫算が成立する途には相當苦慮を要するものがあつたのであるが、遂に三月三十日一部原案の修正を経て或程度積極施策を盛つた豫算案の成立を見たのであるその内容は後述する通りであるが主眼は食糧の増産各種農村工業の振興、緑化対策、教育の振興、民生安定其の他縣政振興の諸施策を相當とり上げて居るのであつて従つてその財源についても能ふ限りの調達に努めて居る次第である然し乍ら國の施策に關聯する具体的諸問題については國の方針の確定を俟ち或は一面歳入就中國稅、地方稅を通ずる稅制改正も豫想せられるのでその決定を俟つて追加豫算で具体化することになつて居る

次に歳入歳出に區分しその狀況を揭示する

2、歳入豫算

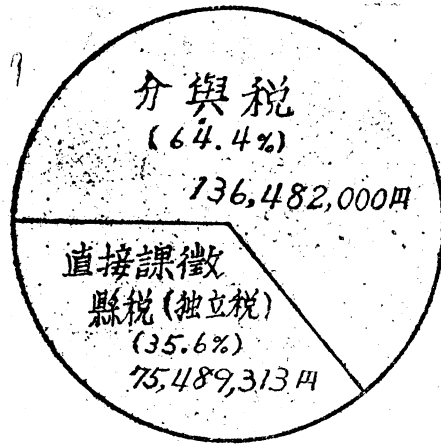
歳入豫算の内譯は左表及び別圖の通りである

(1) 昭和二十三年度歳入豫算内譯（前年度との比較）

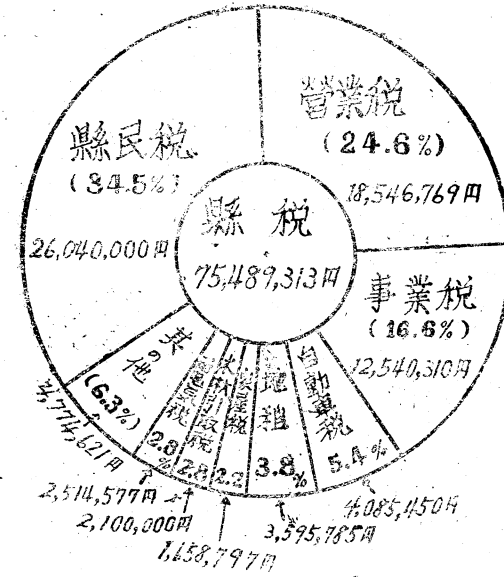


科目	昭和二十三年度豫算額	前年度豫算額	比較増△減	總額に對し占める割合
縣稅	三,九七五,三三三	三,四八六,九三三	一八,五五八,四〇〇	三〇.〇%
公企業及び財産收入	一,〇三二,一六二	三,四一〇,〇三三	一,四七七八,八七一	〇.四%
分擔金及び負擔金	五一一,三〇〇	三三,五八〇	四七七,七二〇	〇.一%
使用料及び手数料	三,九七一,二四二	六,六三三,〇〇〇	七〇,四八二,三三三	〇.二%
國庫支出金	三,六三三,五五二	六,八五七,七〇〇	三,二二四,一四八	四.八%
寄附金	一,六三三,一三三	一,三六八,五〇〇	二六四,六三三	〇.二%
繰入金	五〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	—
繰越金	—	八,五〇〇,〇〇〇	八,五〇〇,〇〇〇	—
雜收入	三,九七六,九六二	三,〇〇七,二六二	九六九,七〇〇	—
縣債	八三三,三〇〇	五,〇一〇,〇〇〇	七,九四三,三〇〇	一.一%
歳入合計	七,〇六六,六二八	二四,六〇〇,〇〇〇	七,九六六,六二八	一〇〇%

地方分與税と独立税の比較



独立税 税目別比較



(2) 歳入豫算の内縣固有財源たる縣税(地方分與税を除く)について見れば次の通りである。

(3) 昭和二十三年年度縣債について
 (4) 費途別内譯は次の通りである

費途	豫算額	割合	充當事業名
教育費	三、三〇五、〇〇〇圓	四、〇一%	特殊學校建設費
衛生費	七、四五〇、〇〇〇	九、〇四%	保健所擴充費
土木費	二五、八六〇、〇〇〇	三二、三八%	府縣道改良事業費
普通土木費	一一、二〇五、〇〇〇		道路橋梁局部改修費
			災害防除施設費
			河川改良事業費
			災害河川改良事業費
			砂防事業費
			港灣費
			河川改良負担金
			都市計畫事業費
			二十二年度災害土木復舊費
			工業試驗場復舊費
			水産試驗場復舊費
			縣行造林費
災害土木費	一四、六五五、〇〇〇		
勸業費	四一、〇八〇、〇〇〇	四九、八四%	
			三、二〇〇、〇〇〇
			四、七五一、〇〇〇
			二、七二七、〇〇〇
			四五一、〇〇〇
			七〇、〇〇〇
			六六六、〇〇〇
			四五〇、〇〇〇
			一、八〇〇、〇〇〇
			三三三、〇〇〇
			五三五、〇〇〇
			四九〇、〇〇〇

農地費	計	造林事業費	民有林開發林道施設費	治山防災施設事業費	保安林改良事業費	農業水利改良事業費	二十年災害復舊耕地事業費	第五次土地改良事業費	縣管排水幹線事業費	開拓事業費
五、二二八、〇〇〇	八二、九二三、〇〇〇	一、〇〇九、〇〇〇	一六、八三六、〇〇〇	一〇、九六〇、〇〇〇	一、五九七、〇〇〇	二二七、〇〇〇	一三三、〇〇〇	二九四、〇〇〇	六五〇、〇〇〇	三、九一四、〇〇〇
五、七三										

3、歳出豫算
 昭和二十三年年度歳出豫算目的別内譯

向縣民 一人當 一四一圓四一
 一戸當 七二〇、九五

歳出豫算の目的別及び用途の内譯は左表の通りである

區分	二十三年度豫算額	割合	人件費	物件費	補助負擔金其他
會費	四、六六〇、〇〇〇圓	〇、七%	三、四六六、六一圓	一、一九七、三三圓	一〇、〇〇〇圓
縣職費	三、五七〇、〇〇〇	五、三%	三、五七〇、〇〇〇	〇	〇
警察費	二〇、五七〇、〇〇〇	二五、九%	一六、四〇〇、〇〇〇	四、一七〇、〇〇〇	〇

土 木 費	1,746,333	11.5	2,594,560	37.7	87,747,330	67.5	2,782,307	20.8
教 育 費	1,746,333	11.5	1,558,333	89.5	9,259,911	59.6	1,251,978	7.5
社會及び勞働施設費	2,100,000	8.8	8,230,257	39.2	8,859,755	42.2	4,087,447	19.0
保健、衛生費	1,000,000	6.8	7,959,811	79.6	1,049,434	10.5	2,267,300	22.1
産業、經濟費	1,000,000	2.0	3,371,117	33.7	6,211,867	61.1	2,000,000	19.8
農 地 費	9,123,985	13.9	1,007,806	11.0	1,007,806	11.0	1,007,806	11.0
地方振興費	2,921,101	0.0	1,000,000	34.2	1,000,000	34.2	1,000,000	34.2
都市計劃事業費	3,691,100	0.0	1,000,000	27.1	1,000,000	27.1	1,000,000	27.1
財 産 費	2,000,000	0.0	1,000,000	50.0	1,000,000	50.0	1,000,000	50.0
統計調査費	5,211,333	0.7	1,751,211	33.6	1,751,211	33.6	1,751,211	33.6
選 擧 費	2,211,333	0.1	2,211,333	100.0	2,211,333	100.0	2,211,333	100.0
公 債 費	1,847,711	2.6	2,000,000	108.3	2,000,000	108.3	2,000,000	108.3
諸 支 出 金	1,550,155	2.1	8,550,711	55.1	8,550,711	55.1	8,550,711	55.1
豫 備 費	100,000	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	15,206,626	100.0	35,500,000	233.5	40,751,330	268.0	35,500,000	233.5

備考 (イ) 割合は豫算總額に對する目的別比率を示したものである
 (ロ) 人件費欄は俸給諸給旅費の外縣會議員及び各種委員會等の報酬手當等を含む。

4、特別會計

昭和二十三年度に於ける特別會計は社會事業特殊資金外十一會計にして新設の物産輸送事業費を除く十一會計は前年度事業を其の儘踏襲したものである。その豫算總額は歳入歳出ともに七百八万八千二百四十九圓であるが此の中には一般會計から四十五萬圓補充して居る
 其の會計別内譯及び歳入歳出の内容を示せば次の通りである

(イ) 會計別豫算額

昭和二十三年特別會計歳入歳出豫算額對照表

會計名	豫算		前年度		比 増	減 較
	年 度	高 度	年 度	高 度		
社會事業特殊資金	1,000,000	10.0	1,000,000	10.0	0.0	0.0
災害救助基金	5,922,223	39.0	1,865,551	12.2	4,056,672	26.8
男女青少年團體事業獎勵資金	3,655	0.0	3,750	0.0	0.0	0.0
教 育 資 金	1,134,000	7.5	1,165,000	7.6	0.0	0.0
就學奨勵資金	221,140	1.4	330,000	2.1	0.0	0.0
學校生徒奨勵資金	330,700	2.2	330,300	2.2	0.0	0.0
縣立實業學校實習費	677,750	4.4	1,184,400	7.8	506,650	3.3
印刷事業費	1,310,600	8.6	3,022,464	19.9	1,711,864	11.3
自作農創設維持奨勵資金	41,984	0.3	330,434	2.2	288,450	1.9

科 目	何 歳 入 内 譯		割	合
	豫 算	額		
畜牛増殖獎勵事業費	一、一二三、五〇一	三二二、七二二	七九〇、七八〇	
無畜農家解消事業費	二、八二〇、〇二八	六二五、一〇〇	二、一九四、九二八	
物産幹旋事業費	四八三、六三九	四八三、六三九	四八三、六三九	
合 計	七、〇八八、二四九	一、九二〇、五三九	五、一七七、七一〇	
公企業及び財産收入	五、二七二		〇、〇八%	
國庫支出金	五六、四〇九		〇、八〇	
繰越金	一一六、〇六四		一、六五	
使用料及び手数料	一、四六六、一三九		二〇、六八	
繰入金	四五〇、〇〇〇		六、三四	
事業収入	一、二六〇、五九九		一七、七八	
雑収入	三、七三三、七六五		五二、六七	
元資受入金	七、〇八八、二四九		一〇〇、〇〇	
計				

科 目	何 歳 出 内 譯		割	合
	豫 算	額		
人件費	一、一二三、六七七	一五、八四%		
物件費	二、七七九、六四四	三九、三三		
補助負担金及び交付金	一、四九三、六一一	二一、〇七		
其他	一、六九二、三二七	二三、八七		
計	七、〇八八、二四九	一〇〇、〇〇		

裏面白

三、縣公債について

本縣においては前に述べた通り累年の災害による復舊事業等の爲多額の起債を要し、加うるに近年のインフレによる支出面の膨張と共に起債総額は上昇し縣財政窮乏の一因となつているのであるが、以下昭和二十三年三月末現在における起債について説明することにする。

(1) 使用目的別現在高

縣債未償還額の總額は八千四百参万貳千圓にして昭和十年に比し約八倍余の増加でありこの縣民一人當り負担額は百四拾參圓である。

右未償還額の目的別は次の通りである。

即ち災害土木費が最高で總額の五〇、六%を占め以下普通土木費、勸業費等の順位となつてゐる。

縣債目的別未償還額調(二十三年三月末現在)

目的別	未償還額	同上割合 (百分比)	備考
教育費	二、一三二、二五六	二、五%	
衛生費	一、二六、五〇〇	〇、二%	
勸業費	六、九七一、七二三	八、三%	
災害土木費	四二、五八三、九九〇	五〇、六%	
普通土木費	一〇、五五九、二六五	一二、六%	
厚生費	三一、二〇〇	〇、一%	

その他 二一、六二八、六二七
計 八四、〇三三、五五一 二五、七
一〇〇、〇

(2) 借入先及び借入条件

昭和二十年年度迄縣債の借入は殆んど起債全額について大蔵省預金部或は簡易保険局であつた。従つてその利率は年三分二厘乃至四分二厘であり長期債（五ヶ年据置十五ヶ年賦償還）であつたが、昭和二十一年度より預金部資金の融資が起債額に對して四〇乃至五〇%となつたのでその残額は縣内一般金融機關より借入れたことゝ加ふるに經濟界の不安定等が原因して短期債の已むなきに至り又利率は諸物價の上昇と共に年六分乃至七分五厘となつたのである。

これを次の借入先及び利率別調により昭和二十二年三月末と昭和二十三年三月末とを對比すれば明である。

縣債借入先及び利率別調（昭和二十二年三月末現在）

目的別	現在額	大蔵省預金部		簡易保険局		その他	
		未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分
教育費	一、七三三、五五五	一、〇三三、八〇〇	一、〇三三、八〇〇	二九、七七五	一、〇三三、八〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
衛生費	三三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—
勸業費	三、四六八、五九九	三、〇三三、八〇〇	三、〇三三、八〇〇	一、〇三三、八〇〇	一、〇三三、八〇〇	一、〇三三、八〇〇	一、〇三三、八〇〇
災害土木費	一、五八六、七三三	三、〇三三、八〇〇	三、〇三三、八〇〇	—	—	—	—
普通土木費	四、五八六、三三〇	—	—	—	—	—	—
計		七、〇五二、九三三	七、〇五二、九三三	三三、〇〇〇	七、〇五二、九三三	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇

縣債借入先及び利率別調（昭和二十三年三月末現在）

目的別	現在額	大蔵省預金部		簡易保険局		その他	
		未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分
教育費	二、三三三、三三三	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
衛生費	三三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—
勸業費	六、九七三、七三三	六、九七三、七三三	六、九七三、七三三	三三、〇〇〇	六、九七三、七三三	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
災害土木費	四、三三三、三三三	—	—	—	—	—	—
普通土木費	一〇、三三三、三三三	—	—	—	—	—	—
厚生費	三三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—
その他	八四、〇三三、五五一	—	—	—	—	—	—
計		八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	六六、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	六六、〇〇〇	六六、〇〇〇

(3) 縣債利率別調（昭和二十三年三月末現在）

目的別	現在額	大蔵省預金部		簡易保険局		その他	
		未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分	未四 滿分	以四 上分
教育費	二、三三三、三三三	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
衛生費	三三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—
勸業費	六、九七三、七三三	六、九七三、七三三	六、九七三、七三三	三三、〇〇〇	六、九七三、七三三	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
災害土木費	四、三三三、三三三	—	—	—	—	—	—
普通土木費	一〇、三三三、三三三	—	—	—	—	—	—
厚生費	三三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—
その他	八四、〇三三、五五一	—	—	—	—	—	—
計		八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	六六、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	六六、〇〇〇	六六、〇〇〇

用途	利率別						計
	無利子	四分未満	四分以上	五分以上	六分以上	七分以上	
教育費	—	1,321,224	—	—	—	—	1,321,224
衛生費	—	1,126,000	—	—	—	—	1,126,000
勸業費	—	3,121,125	—	3,355,850	—	—	6,476,975
災害土木費	—	2,051,176	7,551,950	—	—	—	9,603,126
普通土木費	—	7,711,000	1,551,750	—	—	—	9,262,750
厚生費	—	5,100,000	—	—	—	—	5,100,000
その他	—	5,810,127	2,526,000	—	—	—	8,336,127
計	—	25,550,322	12,577,900	—	—	—	38,128,222

(4) 縣債償還について

縣債殘高八千四百余万圓に對する償還計畫は次の通りである。

縣債償還計畫

年次	借入現在額	舊元利償還額	昭和二十二年度債元利償還額		合計	備考
			預金部(年利七分)	政府貸付金(年利四分)		
昭和二十三年度	3,100,000	3,100,000	1,321,224	6,476,975	11,328,224	
〃 二四〃	3,100,000	3,100,000	1,126,000	5,810,127	9,926,127	
計	—	—	—	—	8,400,000	

〃 二五〃	3,100,000	—	—	5,810,127	10,910,254	
〃 二六〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 二七〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 二八〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 二九〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三〇〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三一〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三二〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三三〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三四〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三五〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三六〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三七〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三八〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	
〃 三九〃	3,100,000	—	—	5,810,127	8,910,254	

過年度債に對する償還額が最近の經濟狀勢の激動によつて財政負担を從來より軽くしたことは既に述べた通りであるが、昭和二十二年以降においては起債額も増大し利率も高率となり又其の一部は金融市場の狀況により短期債となることもあり最近數ヶ年間に於ける償還額は縣財政上極めて重視されなければならない問題である。

(5) 今後の縣債及び之が借入について
 昭和二十二年度起債所定總額は次表の通り壹億壹千万圓にしてこの内昭和二十三年三月末現在において借入せる參千五百六拾萬七千圓については前項において説明したのであるが、殘額七千五百萬圓を更に借入すれば現在借入額八千四百餘萬圓と合算し累計起債總額は壹億五千九百萬餘圓となり過年度未償還額の三・三倍となる。

昭和二十二年度起債額調

費途	過年度未償還額	二十二年		計	過年度に對する倍率	二十二年	
		起債額	償還額			三、三現在借入額	四、四以降借入額
教育費	二,三三,二五〇	二,五〇,〇〇〇	四,三三,二五〇	二,三三	—	—	
衛生費	三三,五〇〇	三〇,〇〇〇	七三,五〇〇	二,二	—	—	
勸業費	六,七二,七三三	一〇,五五,一〇〇	一七,二七,八三三	二,五	—	—	
災害土木費	三,九六,九〇〇	四,〇四,一〇〇	七,〇一,〇〇〇	三,〇	一八,五八,〇〇〇	一〇,五五,一〇〇	
普通土木費	八,八四,三三三	一五,三三,〇〇〇	二四,一七,三三三	二,七	一,九一,〇〇〇	一三,五九,〇〇〇	
厚生費	三,一〇〇	—	三,一〇〇	—	—	—	
その他	六,三三,三三三	三,三三,〇〇〇	九,六六,三三三	六,三	一五,一三,〇〇〇	一六,三三,〇〇〇	
計	四,四三,一五一	一〇,八四,〇〇〇	一五,二七,一五一	三,三	三三,〇〇,〇〇〇	三三,〇〇,〇〇〇	

今後借入を要する昭和二十二年度借入殘額七千五百萬圓及び昭和二十一年度債にして借替を要する壹千壹百萬圓については預金部資金、政府資金及び縣内金融機關より借入れの豫定である。
 昭和二十三年度起債額については既に豫算計上額壹億參千四百餘萬圓(三月三十一日現在)なるも各種施設及び

事業の擴充等により昭和二十三年度も尙相當の追加が豫想せられるのであるが、現下インフレ下の債務は將來の縣財政に及ぼす影響は甚大となるので起債事業については一層健全財政の見地に立脚してその緊急性効率乃至採算等を勘案して特に抑制の方針である。

五、一時借入金について

昭和二十二年度における一時借入金の借入状況は次の通りである。
昭和二十二年度一時借入金借入状況調

借入金金額	借入先	借入期日	償還期日	利率	備考
一〇、〇〇〇、〇〇〇 圓	山陰合同銀行	二二、四、一	二二、二、三二	自四、三、一 至二、七、三 日歩二厘	起債事業費に充當(縣債に借替豫定)
五、〇〇〇、〇〇〇	同	二二、六、二二	二二、九、三〇	自八、三、一 至二、〇、三 日歩二厘	起債事業費に充當(縣債に借替豫定)
一三、〇〇〇、〇〇〇	同	二二、八、一九	二二、五、三〇	自九、三、一 至二、〇、三 日歩二厘	起債事業費に充當(縣債に借替豫定)
四、七五七、〇〇〇	預金部	二二、九、一五	二二、五、一〇	日歩一錢五厘	同
六、一四三、〇〇〇	同	二二、二、一	二二、二、二八	日歩一錢五厘	起債事業費に充當(縣債に借替)
四、三〇〇、〇〇〇	同	二二、二、一	二二、二、二八	日歩一錢五厘	同

一六、〇〇〇、〇〇〇	山陰合同銀行 行外五銀行	二二、二、九	二二、五、二〇	自二、二、九 至二、二、九 日歩二厘	起債事業費に充當(縣債に借替豫定)
一〇、〇〇〇、〇〇〇	同	二二、三、一七	二二、五、二〇	日歩一錢五厘	同

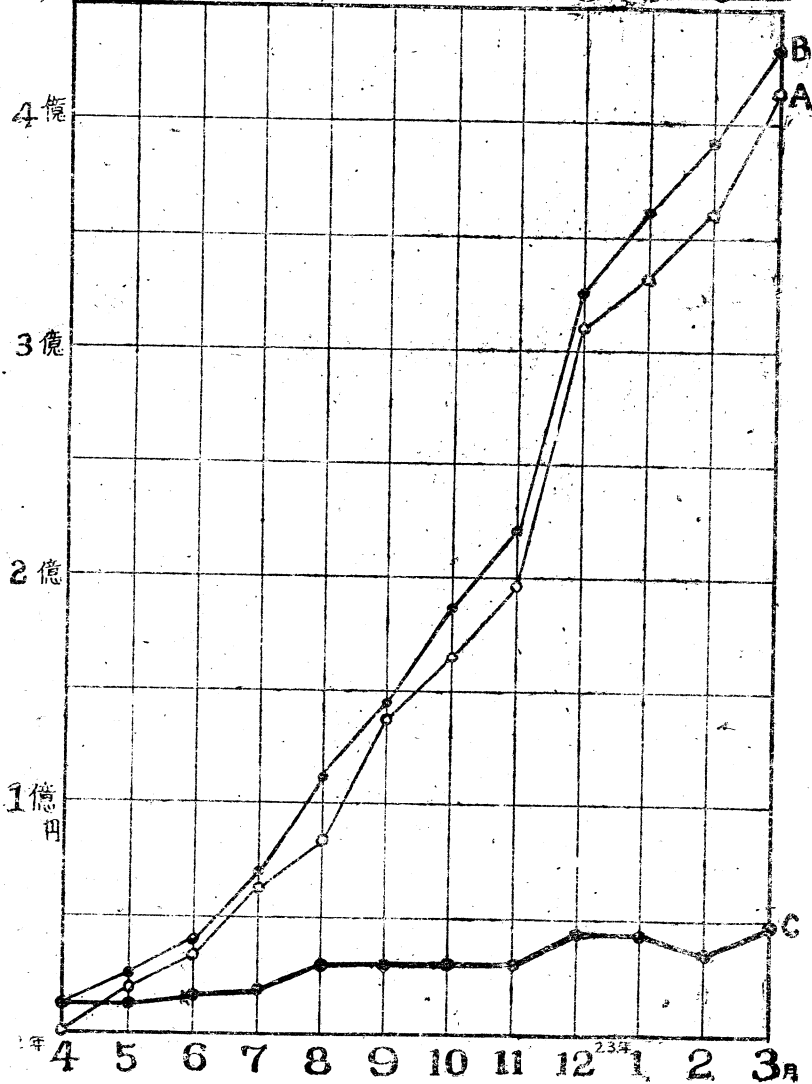
右の借入状況調によつて明な通り四月、六月の壹千五百萬圓の借入金は各々九月、十二月に償還し、年度後半期に借入してゐる五千四百貳拾萬圓は起債事業費に充當するため縣債に借替する繋ぎ資金として借入れたものである。斯の如く年度當初に一時借入金を要したのは歳入の主たるものゝ中地方分與税及び國庫補助金の主要額が年度の後半期に配付せられ又獨立稅收入に於ても稅總額の七割を占めてゐる縣民稅營業稅等は年度後半期でなければならぬのに反し支出は人件費等經常的支出及び事業費等に於ても相當額の支出を要するので此の間の調和を圖るため一時の借入金を爲したものである。

尙起債事業費に充當のための一時借入は各種起債事業の進捗と共にその支出を要するので起債資金として借入すべきものを預金部資金の借入の未確定或は金融市場の状況よりして縣債借替迄の繋ぎ資金として借入れたもので出納閉鎖期までには縣債に借替へるものである。
次に参考の爲昭和二十二年度の月別收支の状況と一時借入金の状況を附した。

00348

昭和22年度收支と一時借入金比較表

A 収入累計額 B 支出累計額 C 一時借入金累計



裏面余白

00347

昭和二十二年逐月別收支状況調

月別	収入	支出	一時借入金	備考
三月	1,133,000,000	923,600,000	10,000,000	
四月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
五月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
六月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
七月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
八月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
九月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
十月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
十一月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
十二月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
一月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
二月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	
三月	1,103,000,000	1,088,500,000	10,000,000	

不動產之地部

種 類	數 量	評 定 價 格	所 在
縣廳敷地及び附屬地	八、〇一五、二三 ^坪	四六、八七七 ^圓	鳥取市東町
縣 公 舍 敷 地	六五〇、四九	四、一八三	同及西町
元鳥取警察署敷地	二四六、一五	一、五八三	鳥取市東町
岩美地方事務所敷地	一、〇〇六、〇〇	六、四六九	同
八頭地方事務所敷地	二五八、〇〇	一、二九五	八頭郡賀茂村
東伯地方事務所敷地	三二三、〇〇	二、一三二	東伯郡倉吉町
西伯地方事務所敷地	一、〇八七、〇五	七、九〇四	米子市東町
日野地方事務所敷地	六四七、〇〇	二、四一三	日野郡根雨町
八頭高等女學校長住宅敷地	一一四、〇〇	五七二	八頭郡賀茂村
鳥取第二中學校敷地	六、四三九、七〇	四一、四〇七	鳥取市立川町

米子中學校敷地	九、二八四、〇〇 ^町	六〇、一六〇	米子市勝田町
同 附 屬 山 林	八〇二二、〇〇 ^歩	一四五	同
倉吉中學校敷地	七、三九五、〇〇 ^坪	四八、八〇七	東伯郡倉吉町
倉吉中學校實習地	二一、〇〇〇 ^歩	四六	同
鳥取高等女學校敷地	三、四五五、二〇 ^坪	二二、二一六	鳥取市東町
鳥取高等女學校附屬幼稚園敷地	二〇〇、四一	一、二八九	同
米子高等女學校敷地	四、七五六、〇〇	三一、四九五	米子市錦町
倉吉高等女學校敷地	五、一三八、四四	三三、九一四	東伯郡倉吉町
根雨高等女學校敷地	二、八二〇、〇〇	一〇、五一九	日野郡根雨町
同 農 業 實 習 地	一〇〇一、〇〇 ^町	五六三	同
倉吉農學校敷地	一一、〇三八、〇〇 ^坪	七二、八五一	東伯郡社村
同 水 田	九二一九、〇〇 ^歩	八、五四八	同
同 畑 地	四、七六二五、〇〇	三一、一九五	同
同 山 林	二二一九、〇〇	五五八	同
同 (基本財産) (畑、山林)	七、三八〇五、〇〇	四八、三六〇	同

種	類	數	量	評定價格	所	在
同	演習林	山林	一〇七、三二四、〇〇	五七、九五〇	東伯郡竹田村	
同	實原	野	四、一〇〇、〇〇	二、二一四	同	
日野	農林學校敷地	敷地	一、八四六、〇〇	六、六四六	日野郡黑坂町	
同	實	習地	四八〇五、〇〇 ^町	三、二七四	同	
智頭	農林學校敷地	敷地	三八〇、〇〇 ^坪	一、八八一	八頭郡智頭町	
鳥取	縣立商業學校敷地	敷地	三、九八三、〇〇	二五、六一一	鳥取市東町	
米子	工業學校敷地	敷地	八、六三七、九九	五六、四五七	米子市博勞町	
米子	農商學校敷地	敷地	六、一〇〇、〇〇	四〇、一三八	同 長砂町	
同	實	習地(田)	二四一五、七五 ^町	九〇三	同	
同	實	習地(畑)	二、四三一三、二五	八、一四八	同	
縣立	倉吉工業學校敷地	敷地	七、三九五、〇〇 ^坪	三八、八〇七	東伯郡倉吉町	
獎德	學校敷地	敷地	一、七〇六、〇〇	一一、八八四	米子市東福原	
同	山	林	五〇二九、〇〇 ^町	四五九	同	
同	農業	實習地	一、五一〇、〇〇	三、八六〇	同	

鳥取	盲聾啞學校敷地	敷地	一、四五一、〇〇 ^町	九、三三〇	鳥取市湯所町	
同	實	習地	一七二八、〇〇	一、五一九	同	
鳥取	警察署敷地	敷地	二二二、二五 ^坪	一、四二九	鳥取市藪片原町	
同	茶町	巡查派出所敷地	八、三〇	五三	同 茶町	
岩井	警察署敷地	敷地	三二五、〇〇	一、〇九九	岩美郡岩井町	
河原	警察署敷地	敷地	二九、〇〇	一二七	八頭郡河原町	
同	附屬	建物敷地	三九、六〇	一七四	同	
若櫻	警察署敷地	敷地	五六、〇〇	二七五	八頭郡若櫻町	
智頭	警察署敷地	敷地	七三、〇〇	三六一	同 智頭町	
倉吉	警察署敷地	敷地	三四九、〇〇	二、八〇〇	東伯郡倉吉町	
同	橋津村	巡查駐在所敷地	一四、〇〇	七三	同 橋津村	
八橋	警察署敷地	敷地	二七〇、〇〇	二、一二〇	同 八橋町	
米子	警察署敷地	敷地	三六七、〇〇	二、四五一	米子市柁町	
鳥取	警察署長官舎敷地	敷地	一四〇、〇〇 ^坪	九〇〇	鳥取市東町	
岩井	警察署長官舎敷地	敷地	一三五、〇〇	四五六	岩美郡岩井町	

種	類	數	量	評定價格	所	在
寶木警察署長官舍敷地		七三、〇〇		三一五	氣高郡寶木村	
黒坂警察署長官舍敷地		八二、五〇		二九七	日野郡黒坂町	
溝口警察署長官舍敷地		一〇六、〇〇		六五八	同 溝口町	
若櫻警察署長官舍敷地		六七、〇〇		三二九	八頭郡若櫻町	
倉吉警察署長官舍敷地		八七、〇〇		五七四	東伯郡倉吉町	
米子警察署水上巡查派出所敷地		三五、〇〇		二三四	米子市灘町	
同 淀江巡查部長派出所敷地		一五七、〇〇		一、六四四	西伯郡淀江町	
同 飛行場巡查出張所敷地		七九、〇〇		五一七	米子市兩三柳	
境警察署敷地		一四三、〇〇		八二四	西伯郡境町	
溝口警察署敷地		一三〇、〇〇		八〇七	日野郡溝口町	
黒坂警察署附屬地敷地		二〇〇、〇〇		七二〇	同 黒坂町	
鳥取保健所敷地		一三〇、五〇		八三九	鳥取市片原町	
鳥取診療所敷地		一一六、七五		七五〇	同 瓦町	
米子診療所敷地		二〇九、〇〇		一、四三五	米子市花園町	

池田診療所敷地		五〇、〇〇		十一九	八頭郡池田村
工業指導所敷地		一、九八一、〇〇		一三、七四四	鳥取市西町
商品陳列所敷地		三一八、〇〇		二、一三六	米子市西町
水産試驗場敷地		八三、〇〇		五四二	鳥取市賀露町
鳥取縣立技術員養成所敷地		八六四、一九		五、五五七	同 吉方
倉吉土木出張所敷地		五三八、〇〇		三、五五一	東伯郡倉吉町
根元土木出張所敷地		一二五、三六		四六八	日野郡根雨町
蠶業取締所米子支所敷地		五三四、〇〇		三、五二五	米子市立町
蠶業試驗場敷地		二、四二六、〇〇		一五、二三五	東伯郡上井町
同 試驗地(畑)		二、〇九〇、〇〇		六、五一五	同
同 試驗地(竹林)		一、〇九二七、〇〇		六、五九四	同
米川揚水機舍敷地		三三八、〇〇		四一五	米子市皆生
大井手揚水機舍敷地		一一九、〇〇		三七〇	氣高郡大和村
開拓増産修練農場敷地		二、五七五、二四		七、九五七	東伯郡南谷村
同 畑		四、三二一四、二六		二〇、六六六	同

種	類	數	量	評定價格	所	在
同	山	八、三二六、〇〇	坪	二、一九三	同	
同	檢定所敷地	二、〇〇〇、〇〇	坪	一、三七七	米子市旗ヶ崎	
同	米子港灣埋立地	三、二七八、〇〇		一、六七〇	同	灘町
同	境港埋立地	二、八五六、〇〇		一〇、一六七	同	西伯郡境町
同	境港灣地	二、八〇九、三七		一〇、〇〇〇	同	
同	千代川廢川敷地(田)	二〇、八六〇、〇〇	町	八〇、四一九	同	氣高郡千代水村
同	皆生健民修練所敷地	九九二、三五	畝	六、一一四	同	米子市皆生
同	縣公舍(畑)	三、二五	坪	二六〇		
同	計	一一九、八九三、八七	坪	九九六、八八七		
		一五九町八反七畝				
		二六步				

建		物		棟數		評定價格		所		在			
種	類	坪數	棟數	評定價格	所	在	種	類	坪數	棟數	評定價格	所	在
縣廳舍及び附屬建物		二、二二七、〇五	一六	一〇、〇九一	千圓	鳥取市東町	縣廳舍及び附屬建物		二、二二七、〇五	一六	一〇、〇九一	千圓	鳥取市東町
縣公舍及び附屬建物		七〇九、九五	二〇	二、九一六	同		縣公舍及び附屬建物		七〇九、九五	二〇	二、九一六	同	
縣會議事堂及び附屬建物		二九七、一〇	三	八七二	同		縣會議事堂及び附屬建物		二九七、一〇	三	八七二	同	
縣營印刷所		六四、〇〇	一	三四五	同		縣營印刷所		六四、〇〇	一	三四五	同	
仁風閣本館及び附屬建物		三六二、八四	四	一、〇〇五	同		仁風閣本館及び附屬建物		三六二、八四	四	一、〇〇五	同	
岩美地方事務所廳舍及び附屬建物		二七八、二一	六	一、〇四五	同		岩美地方事務所廳舍及び附屬建物		二七八、二一	六	一、〇四五	同	
鳥取土木出張所事務所及び附屬建物		一三〇、一九	八	五四九	同		鳥取土木出張所事務所及び附屬建物		一三〇、一九	八	五四九	同	
同 浦富駐在所本館及び附屬建物		二六、三〇	四	六二	同		同 浦富駐在所本館及び附屬建物		二六、三〇	四	六二	同	
同 郡家土木出張所本館及び附屬建物		九七、〇四	三	二三〇	同		同 郡家土木出張所本館及び附屬建物		九七、〇四	三	二三〇	同	
同 元大路川改良事務所本館及び附屬建物		四一、七五	五	一一五	同		同 元大路川改良事務所本館及び附屬建物		四一、七五	五	一一五	同	
同 勝部川日置川改良事務所本館及び附屬建物		一一三、二五	三	三六五	同		同 勝部川日置川改良事務所本館及び附屬建物		一一三、二五	三	三六五	同	
同 倉吉土木出張所本館及び附屬建物		一〇七、七五	四	二九二	同		同 倉吉土木出張所本館及び附屬建物		一〇七、七五	四	二九二	同	

種	類	坪	數	棟	數	評	定	格	所	在
法勝寺川改良事務所本館及び附屬建物			七二、〇〇		三		一八一	千圓	西伯郡五千石村	
八頭地方事務所廳舎及び附屬建物			四一五、一二		五		一、四二八		八頭郡賀茂村	
氣高地方事務所廳舎及び附屬建物			二二三、〇〇		三		九九九		氣高郡正條村	
東伯地方事務所廳舎及び附屬建物			三四八、五〇		七		一、〇九二		東伯郡倉吉町	
西伯地方事務所廳舎及び附屬建物			五一四、三六		五		一、九九一		米子市東町	
日野地方事務所廳舎及び附屬建物			二二二、〇〇		三		八九〇		日野郡根雨町	
米子土木出張所作業場			一一、二五		一		九		米子市車尾	
根雨土木出張所本館及び附屬建物			一三二、六三		五		五〇二		日野郡根雨町	
鳥取第一中學校々舎及び附屬建物			一、六九〇、一三		二〇		四、三九五		鳥取市東町	
鳥取第二中學校々舎及び附屬建物			一、一八九、二〇		一七		八、六八五		鳥取市立川町	
米子中學校々舎及び附屬建物			一、六一五、四〇		一六		一、五九九		米子市勝田町	
倉吉中學校々舎及び附屬建物			一、五七八、〇〇		一九		三、九七五		東伯郡倉吉町	
米子高等女學校々舎及び附屬建物			九九六、〇〇		一七		二、九一三		米子市錦町	
倉吉高等女學校々舎及び附屬建物			一、四一九、二一		一五		三、九〇九		東伯郡倉吉町	

由良高等女學校々舎及び附屬建物			五四五、五〇		五		二、三六二		東伯郡由良町	
根雨高等女學校々舎及び附屬建物			九一六、八〇		一三		二、二四六		日野郡根雨町	
縣立八頭高等女學校々長住宅及び附屬建物			五八、五〇		三		二四七		八頭郡賀茂村國中村	
鳥取高等女學校々舎及び附屬建物			一、〇九八、二五		一六		三、五七四		鳥取市東町	
倉吉農學校々舎及び附屬建物			二、一九二、五五		四七		五、五六六		東伯郡倉吉町	
日野農林學校々舎及び附屬建物			一、三〇四、五二		三六		二、三二六		日野郡根雨町	
鳥取縣立商業學校々舎及び附屬建物			一、一七六、七五		二一		二、四四二		鳥取市東町	
鳥取工業學校々舎及び附屬建物			一、一九四、二五		一二		四、六一七		鳥取市立川町	
米子工業學校々舎及び附屬建物			一、九五四、九五		三八		五、二四九		米子市博勢町	
倉吉工業學校々舎及び附屬建物			七〇八、〇〇		一二		三、八二八		東伯郡倉吉町	
米子農工學校々舎及び附屬建物			一、三四三、五〇		三四		三、四八六		米子市長砂町	
境中學校々舎及び附屬建物			九六二、〇〇		六		三、八四六		西伯郡境町	
智頭農林學校々舎及び附屬建物			五二五、七〇		九		一、九九八		八頭郡智頭町	
鳥取盲聾啞學校々舎及び附屬建物			三七四、三〇		四		一、三八六		鳥取市湯所町	
獎德學校本館及び附屬建物			二六九、八〇		一〇		六〇〇		米子市東福原	

種	類	坪	數	棟	數	評	定	格	所	在			
鳥取圖書館本館及び附屬建物	縣立機械技術員養成所本館及び附屬建物	鳥取警察署廳舎及び管内附屬建物	岩井警察署廳舎及び附屬建物	河原警察署廳舎及び附屬建物	若櫻警察署廳舎及び附屬建物	智頭警察署廳舎及び附屬建物	實木警察署廳舎及び附屬建物	倉吉警察署廳舎及び管内附屬建物	八橋警察署廳舎及び附屬建物	米子警察署廳舎及び管内附屬建物	境警察署廳舎及び管内附屬建物	黒坂警察署廳舎及び附屬建物	溝口警察署廳舎及び附屬建物
五九四、九八	二九〇、〇〇	五一七、八八	一四二、四〇	一二八、二五	一一六、〇〇	一六五、四七	一〇六、四一	一一一、〇三	九五、二五	三三六、六二	一一〇、四〇	一〇六、一一	七五、七五
三	二	一一	五	四	三	三	六	七	三	一四	五	五	五
一、八〇〇	九三九	三、二八五	四六〇	三八四	四一八	四六六	三〇八	五八四	二三二	五二五	二六九	二三九	一六八
鳥取市西町	鳥取市吉方	鳥取市内	岩美郡岩井町	八頭郡河原町	同 若櫻町	同 智頭町	氣高郡實木村	東伯郡倉吉町及橋津村	東伯郡八橋町	米子市及西伯郡淀江町	西伯郡境町	日野郡黒坂町	日野郡溝口町

種	類	坪	數	棟	數	評	定	格	所	在			
米子診療所本館及び附屬建物	倉吉細菌検査所本館及び附屬建物	米子細菌検査所本館及び附屬建物	鳥取保健所本館及び附屬建物	智頭保健所本館及び附屬建物	池田診療所	山守診療所本館及び附屬建物	衛生試験所本館及び細菌検査所	農事試験場各試験地本館及び附屬建物	種畜場放牧場監視舎家畜衛生試験地本館及び附屬建物	工業指導所本館及び附屬建物	商品陳列所本館及び附屬建物	水産試験場事務室及び附屬建物	蠶業試験場事務室及び附屬建物
七三、〇三	七五、〇〇	二四、〇〇	七四、〇〇	一五五、七五	二三、七五	三〇、二五	六一、〇〇	一〇一八、三五	九二、三五	三三七、七五	二四四、〇九	二一八、〇〇	九五〇、〇五
三	一	二	二	二	一	二	二	五二	二九	八	三	五	一一
三四三	二三一	四三	一七五	五五〇	五六	七二	四一〇	三、三七七	二、二一六	六三五	六〇〇	七四三	一一、一四一
米子市花園町	東伯郡倉吉町	米子市花園町	鳥取市片原町	八頭郡智頭町	同 池田村	東伯郡山守村	鳥取市東町	鳥取市吉成外六ヶ町村	東伯郡赤碕町及八橋町	鳥取市西町及津ノ井村	米子市西町	鳥取市賀露町	鳥取市東町

動 産 之 部

種 別	有 價 證 券		現 在 金		合 計 (有價證券は 實價に依る)	
	種 類	額 面 價	實 價	貸 出 金		
大禮恩賜賑恤資金	勸業銀行 株券	三、五八〇、〇〇〇	三、五八〇、〇〇〇	七、〇六八、五四〇	四八、八七〇	二、八九、六二〇
慈惠救濟金	國 債	五九、〇〇〇、〇〇〇	五九、〇〇〇、〇〇〇	五、四四、一一〇	二、五九、〇〇〇	六九、九五、八四〇
罹災救助基金	國 債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、六〇五、〇〇〇	三、二九六、〇〇〇	九〇八、二〇〇、〇〇〇
男女青少年團休事業獎勵資金	國 債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一八、七九〇、四六〇	三、三〇六、〇〇〇	九〇八、二〇〇、〇〇〇
教 育 資 金	國 債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、五九三、〇〇〇	一〇、八七五、八〇〇	二七、三三、四六〇
學校生徒獎勵資金	國 債	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	六、九〇〇、〇〇〇	九、五〇〇、〇〇〇	六〇、九七、二六〇
就業獎勵資金	國 債	七四〇、七五二、〇〇〇	七四〇、七五二、〇〇〇	〇	〇	一、九四〇、九三一、六六〇
特 別 資 金	勸業銀行株	九〇〇、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇
計						

種 類	坪 數	棟 數	評 定 價 格	所 在
蠶業取締所米子支所事務室及び附屬建物	一五三、四五	一四	四四二	米子市立町
繭檢定所檢査室及び附屬建物	五八五、〇〇	一七	一、八一三	同 旗ヶ崎
米川用水改良事業揚水機舎	六八、七〇	一	三二八	同 皆生
大井手用水改良事業長谷揚水機舎	二〇、五〇	一	一五	氣高郡大和村
千代川廢川地揚水機舎	一〇、〇〇	一	一〇	同 千代水村
境港務所本館及び附屬建物	四〇三、四八	一〇	一、一二七	西伯郡境町
開拓増産修練農場本部教室及び附屬建物	八八一、五〇	一九	二、五一四	東伯郡南谷村
皆生健民修練所及び附屬建物	二一〇、〇〇	六	七八九	米子市皆生
大山有畜農業指導所本館及び附屬建物	三四八、〇〇	一〇	一、〇八〇	東伯郡上中山村
大山有畜營業指導所	一五六、八〇	〇	九〇	
正道館	三九、五三八、三二	七七九	一二四、一七九	東伯郡以西村

立木之部

(縣有林)

種	類	石	數	價	格	所	在
杉	樹	二〇一、二二五	三、五一八、三七五	同	日野郡根雨町板井原		
檜	同	九七、八四〇	一、四六七、六〇〇	同	八頭郡西鄉村		
杉	同	八五、一七六	八五一、七六〇	同	同		
檜	同	五七、八一〇	五七八、一〇〇	同	同		
杉	同	二六、八五五	四〇二、五一六	同	池田村		
檜	同	一八、五六七	二七八、五〇五	同	智頭町		
杉	同	八六、九六七	一、〇四三、六〇四	同	同		
計	同	六一六、九八〇	八、五六五、八六〇	同	同		

船舶之部

種	類	噸	數	員數	價	所	在
發動機船	(鳥取丸)	二三、五六	壹	拾壹萬壹千圓	鳥取市鳥取港		
同	(第二鷹丸)	六、〇〇	壹	壹萬四千圓	同		
同	(隼丸)	二四、〇四	壹	拾壹萬壹千圓	岩美郡大岩港		
潜水船	(第一初鷹丸)	三、〇〇	壹	壹萬四千圓	鳥取市鳥取港		
同	(第二初鷹丸)	五、〇〇	壹	貳萬圓	同		
傳馬船			參	參千圓	同		
計		六一、六〇	九	貳拾七萬貳百五拾五圓	岩美郡大岩港		

自動車之部

種類	型	式	員數	許可番號	評定價格	所	在
乘用車	バックカード	一九三六年式	一	一二三〇	一九五、〇〇〇	軍政中隊	
同	同	一九三二年式	一	一二五〇	一五〇、〇〇〇	會計課	
同	スチュードベーカー	一九三七年式	一	一二六〇	一三二、〇〇〇	同	

種類	型	式	員數	許可番號	評定價格	所在
同	ビウイック	一九三六年式	一	一二七〇	一五〇、〇〇〇	同
同	同	一九三四年式	一	一二八〇	一五〇、〇〇〇	同
同	ナツシユ	一九三五年式	一	一二一〇	一〇〇、〇〇〇	經理課
同	クライスラー	一九三七年式	一	一二三一	二四三、〇〇〇	警察本部
同	ダットサン	二五九八年式	一	五三〇七	八〇、〇〇〇	同
同	シボレー	一九三〇年式	一	一二一二	一五〇、〇〇〇	岩井警察署
同	フォード	一九三七年式	一	一二三八	一六五、七〇〇	鳥取警察署
同	シボレー	一九二六年式	一	一二五八	八〇、〇〇〇	若櫻警察署
同	フォード	一九三七年式	一	一二一三	一七一、九〇〇	倉吉警察署
同	シボレー	一九三三年式	一	一二四六	一五〇、〇〇〇	同
同	同	一九二九年式	一	一二〇五	一三〇、〇〇〇	八橋警察署
同	同	一九二七年式	一	一二一五	一三〇、〇〇〇	米子警察署
同	同	一九三五年式	一	一二一六	一五〇、〇〇〇	同
同	同	一九三八年式	一	一二五三	一五〇、〇〇〇	同

種類	型	式	員數	許可番號	評定價格	所在
同	同	一九三二年式	一	一二三七	一五〇、〇〇〇	黒坂警察署
同	フォード	一九二五年式	一	一二九一	一二〇、〇〇〇	溝口警察署
貨物自動車	トヨタ	二六〇六年式	一	一三一	一〇〇、〇〇〇	鳥取土木出張所
同	同	二六〇〇年式	一	一三一二	一〇〇、〇〇〇	同
同	GMC	一九四六年式	一	九四三四四一	一七〇、〇〇〇	同
同	WC	一九四六年式	一	九二二二六二	一七〇、〇〇〇	同
同	トヨタ	二六〇三年式	一	一三一〇	一二二、〇〇〇	大路川改良事務所
同	ニッサン	二六〇一年式	一	一三三七	一〇〇、〇〇〇	米子土木出張所
同	ニッサンダンブ	二六〇七年式	一	一三六四	一九〇、〇〇〇	同
同	トヨタ	一九三六年式	一	一三三一	八〇、〇〇〇	同
同	同	二六〇六年式	一	四〇〇五	一七〇、〇〇〇	倉吉土木出張所
同	シボレー	一九三六年式	一	一三一七	一〇〇、〇〇〇	同
同	WC	一九四六年式	一	九二一、五〇一	一七〇、〇〇〇	同
同	フォード	一九三七年式	一	一三〇九	一三四、〇〇〇	郡家土木出張所
同	トヨタ	二六〇三年式	一	一三三四	一二一、三〇〇	根雨土木出張所

種類	型式	員數	許可番號	評定價格	所在
乗用車	同	一	四〇〇九	一八九、〇〇〇	東部港灣修築事務所
同	同	一	一三四八	一二一、〇〇〇	警察部
同	ダツヂブラザーズ	一	九二一三四九	六〇、〇〇〇	同
同	同	一	九二一三五〇	六〇、〇〇〇	同
同	ダイハツ	一	一三七一	一〇〇、〇〇〇	同
同	同	一	一三七一	一〇〇、〇〇〇	倉吉警察署
同	同	一	一三六三	一〇〇、〇〇〇	同
同	トヨタ	一	一三三〇	二三〇、〇〇〇	米子警察署
同	ダツヂブラザーズ	一	九二一三四八	六〇、〇〇〇	同
同	トヨタ	一	一三五〇	二〇〇、〇〇〇	同
同	ニッサン	一	一三二一	一八九、〇〇〇	種畜場
小型自動車	トヨタ	一	五九〇	三〇、九〇〇	農事試験場
同	同	一	一三五六	三七、〇〇〇	西伯郡淀江町
同	同	一	一三七五	七〇、〇〇〇	警察部
同	同	一	一三七六	七〇、〇〇〇	寶木警察署

側車	クロガネ	一	一三七四	五〇、〇〇〇	米子警察署
同	陸王	一	一一七二	六〇、〇〇〇	鳥取警察署
同	同	一	一三八二	六〇、〇〇〇	米子警察署
計		四九臺		六、一六一、八〇〇	